

平成 25 年 11 月 27 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

「MONEX 個人投資家サーベイ 2013 年 11 月調査」 個人投資家の関心は、欧州の金利動向・金融政策へ

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月より、マネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境に対する意識調査を月次で実施しております。

このたび、2013 年 11 月 11 日～13 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 1, 177 件の回答結果を報告書にまとめました。

【調査結果要約】

(1) 個人投資家の見通し DI ^(※1) は日本株と中国株が低下、米国株は小幅に上昇

【日本株 DI】 (2013 年 10 月) 56 → (2013 年 11 月) 39 (前月比 -17 ポイント)

【米国株 DI】 (2013 年 10 月) 25 → (2013 年 11 月) 32 (前月比 +7 ポイント)

【中国株 DI】 (2013 年 10 月) -32 → (2013 年 11 月) -46 (前月比-14 ポイント)

日本の個人投資家に今後 3 ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場見通しについてたずねました。前回調査時（2013 年 10 月実施）以降、日経平均が一進一退だったこともあり投資家心理は改善せず日本株 DI は低下に転じました。一方、米国株 DI は小幅に上昇しました。11 月 8 日に発表された 10 月分の米国雇用統計（非農業部門雇用者数）が予想に反しプラスであったことが要因の一つと考えられます。中国株 DI については、11 月 1 日に発表された 10 月の製造業 PMI が前月より上昇したものの、中国株関連指数が下落傾向だったことなどが影響してか低下しました。

(※1)「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

(2) 業種別魅力度ランキング、「自動車」が首位を奪還

個人投資家が「魅力的であると思う業種」ランキングでは、好決算が影響してか、「自動車」(2 位→1 位) と「医薬品」(3 位→2 位) が上位 2 位を奪還しました。その他、「通信」(6 位→5 位)、「小売り」(10 位→9 位) が順位を上げるなか、「鉄鋼」(9 位→10 位) などが順位を下げました。特に、前回調査時 1 位であった「不動産」は 3 位に転落しました。

(3) 個人投資家の注目は、欧州の金利動向および金融政策に

個人投資家が注目する国内のトピックは、調査期間が企業の4-9月期決算発表シーズンということもあり企業業績についての注目度合が高まりました。

一方、調査開始前の週に欧州の中央銀行であるECBが半年ぶりの利下げを行ったことを受け、欧州の金利動向および金融政策に対する関心も高まりました。(前月比 欧州の金利動向：+5.5% 欧州の金融政策：+6.2%)

(4) 消費増税後の対応について

2014年4月に5%から8%に引き上げられる消費税の影響について、個人投資家の意識調査をしました。家計支出を減らすかをたずねたところ、「はい(減らす)」39%、「いいえ」30%、「まだ分からない」31%と、個人投資家の意向は分かれました。一方、消費税増税に備えておくこととしては、回答者全体の約3割が「特になにもしない」と回答するなかで、「なんらかの準備をする」と回答した個人投資家は住宅・車の購入や白物家電の買い替えなど高額のもの事前購入と日用品・消耗品などの買い置きなどを挙げ、堅実な面があることもうかがえました。

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

<p>【お問合せ先】 マネックス証券株式会社 営業本部 PR担当 松崎 電話 03-4323-3800</p>
